

平成31年度施政方針（概要）

昨年7月の豪雨災害は、宇和島市にとって、忘れられない、そして、決して忘れてはならないものとなりました。土砂災害等により、13名もの尊い命が失われたほか、公共土木施設をはじめ多くの家屋や、柑橘園地、事業所も被災するなど、甚大な爪あとを残しました。

災害発生後、国、愛媛県はもとより、国内外を問わず多くの方々から、様々なご支援、ご協力をいただきましたおかげで、市民生活も一応の安定をみておりますが、本格的な復旧・復興はまだまだこれからであります。

この4月末をもって平成の時代に終わりを告げ、いよいよ5月から新たな時代が幕開けいたします。この節目の年である本年を、本市においては、平成30年7月豪雨災害からの復興元年と捉え、速やかな復興と更なる発展を目指し、引き続き全力で取り組んでまいりる所存でございます。

さて、我が国の景気は、雇用・

所得環境の改善が続く中で、各種政策の効果もあつて、緩やかな回復基調が続いているものの、世界的には、通商問題の動向や、国際情勢の不確実性、国内的には、10月に予定されている消費税率の引上げの影響など、景気の先行きに対する不透明な要素も見受けられます。特に、私たちが暮らす地方においては、少子高齢化の進展も相まって、あまり景気の回復を実感できない現状であると思っております。

一方、本市の財政状況は、地方交付税をはじめ国や県などからの財源に大きく依存する体質に変わりはないものの、合併以降、様々な行財政改革に取り組んできた結果、各種財政指標は大幅に改善が図られておりますが、昨年の7月豪雨災害からの復旧・復興対策はもとより、防災・減災対策の強化をはじめ、今取り組みなければならぬ課題も山積してお

り、国や県に対して強力な財政支援を要請してもなお、大きな財政負担が見込まれております。

このような中、平成31年度当初予算においては、堅実な財政運営の流れを堅持しつつ、豪雨災害からの復旧・復興の歩みを加速化するとともに、引き続き市民の皆様への「声を力に」、宇和島市の「未来」につながる、「経済活性化と雇用の創出」、「子育て・教育環境の充実」、「健康づくり・生きがいづくりの推進」を三本柱に掲げ、スピード感を持って重点的に取り組みメリハリの利いた予算編成を行いました。

※平成31年度 施政方針のおもな項目は、広報P4～5で紹介します。

平成31年度 施政方針（抜粋）

平成31年3月「第68回宇和島市議会定例会本会議」において市長が表明した施政方針から、おもな項目を抜粋してお知らせします。なお、施政方針全文については、市ホームページをご覧ください。



復旧に向けた施策

- ▶「地域支えあいセンター」との連携をはじめ、行政、NPO、ボランティアの三者が一体となった被災者に寄り添った支援
- ▶河川、道路など公共土木施設の早期復旧
- ▶農地、モノレールやスプリンクラーなどの農業用施設の早期復旧
- ▶災害廃棄物の処理・運搬



復興に向けた施策

- ▶豪雨災害から1周年となる7月7日に、吉田公民館で追悼式を執り行う
- ▶「復興まちづくりアドバイザー」や「現地駐在員」などの外部人材を活用し、民間企業と連携した情報発信や新規就農者の支援体制の構築
- ▶愛媛大学柑橘イノベーションセンターと連携したかんきつ産業の復興と発展
- ▶被災した中小企業者の販路開拓支援
- ▶吉田町夏祭り、吉田産業祭、うわじま牛鬼まつりなど各種イベントの拡充
- ▶豪雨災害を踏まえ、将来ビジョンを策定する各地域づくり協議会に交付金の追加交付



防災力の強化に関する施策

- ▶豪雨災害を教訓とした防災関連計画および災害対応マニュアルなどの早急な見直し
- ▶避難勧告など発令の判断基準の見直しや民間気象情報サービスの活用など情報伝達体制の強化、防災マップと防災アプリの更新・機能追加
- ▶消防団への資機材の追加整備
- ▶本庁舎および津島支所の耐震化
- ▶浸水被害対策
- ▶防災センターの整備に向けた検討



[宇和島の「未来」への施策]

①地域経済、雇用の未来につながる施策

- ▶ 戦略的シティセールスの展開
- ▶ 市販商品データベースのさらなる充実、市内企業の商談会参加を支援、姉妹都市協定締結から20年目を迎える大崎市、10年目を迎える当別町と連携した姉妹都市関連フェアの開催
- ▶ 水産物荷さばき施設を2020年度の早い時期に開設
- ▶ 橋梁を含むアクセス道路「樺崎臨港道路」の早期完成に向けた要望。関連する市道拡張工事などの計画的な推進
- ▶ 大浦埋立地への企業立地の推進
- ▶ 城山下観光施設の建設に向けた準備。老朽化した伊達博物館、津島やすらぎの里および闘牛場の改修計画の検討
- ▶ 農林水産業の担い手対策、鳥獣害対策の継続。養殖共済の支援を拡充



②子どもたちの未来につながる施策

- ▶ 子育て世代包括支援センターの設置
- ▶ 産後間もない母子に対する支援強化
- ▶ 子ども食堂への支援制度の創設。パフィオ内への子育て世代活動支援センターの開設。放課後子ども教室の拡充
- ▶ 発達障がい児などに対する支援拠点の整備
- ▶ 公園遊具の整備
- ▶ 小学校の統廃合：「宇和島市立学校の適正規模・適正配置に関する基本方針」に基づき、保護者・地域の皆様の理解を得て丁寧に進める。
- ▶ 2020年7月を目途に全小学校へのエアコンを整備
- ▶ スポーツ競技力の向上や指導力のレベルアップ

③健康づくり、生きがいくりの未来につながる施策

- ▶ 介護認定率の更なる改善に向けて「ガイヤマイレージ」をはじめとした介護予防事業の拡大
- ▶ 高齢者の運動機能や認知機能の低下の予防につながるため、無料歯周疾患検診の対象を70歳から74歳に拡充
- ▶ 労働時間の短縮や女性医師に対する配慮など、医師の働き方改革を促進

そのほか主要な事業

- ▶ 宇和島市学習交流センター(パフィオうわじま)のオープン
- ▶ 市政広報番組の制作
- ▶ 吉田秋祭神幸行事の国指定文化財への登録、津島町岩松の町並み保存地区の伝統的建造物群保存地区への指定に向けた取り組み
- ▶ 中サイズの可燃ごみ袋の導入、単独処理浄化槽撤去費用に対する補助の拡充、犬・猫の不妊去勢手術費の補助制度の創設
- ▶ 若者が帰って来やすい仕組みづくり(「おかえりプロジェクト」)の継続

